

◆高齢者等見守り活動 2019年度の行政への連絡件数

市 町 村	性別	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	不明	総計
青 森 市	男性	2	1	2	1	2	1	9
	女性			1	3	2		6
八 戸 市	男性		2	1	1			4
	女性		2	8	3			13
弘 前 市	男性	1	11	1	2			15
	女性	2	2	1	4	3		12
黒 石 市	女性				1			1
	男性				1			1
平 川 市	女性			1				1
	男性				2			2
む つ 市	女性				1	1		2
	男性				1			1
つ が る 市	女性				1			1
	男性				1			1
藤 崎 町	女性				1			1
	男性				1			1
五 戸 町	男性			1				1
	女性				3			3
南 部 町	男性				1			1
	女性				1			1
板 柳 町	男性				1			1
	女性				1			1
おいらせ町	男性	3	14	5	9	2	1	34
	女性	2	4	11	18	6	0	41
総 計	合計	5	18	16	27	8	1	75
	年 代 別 割 合	6.7%	24.0%	21.3%	36.0%	10.7%	1.3%	

コープあおもりは、14年2月に青森県と『青森県における高齢者等見守りの取り組み推進に関する協定』を締結し、その後、15年9月までに県内全市町村との見守り協定を締結するに至っています。

19年度の高齢者等見守り活動

(1) 19年度1年間(19年3月21日～20年3月20日)で異常を察知し、行政に75件の連絡を行いました。協定締結以来、件数が最も多くなっています。

(2) 市町村別の連絡件数は、弘前市が27件(前年差+2件)と最も多く、次いで八戸市が17件(前年同数)、青森市が15件(前年差+6件)でした。年間で12市町村と連絡連携を取り、前年からは2市町村減少しました。

(3) 年代別では80歳代が一番多く、70歳以上で51件となり、全体の68%を占めました。前年からは70歳代は11件減少しましたが、80歳以上は14件増加しました。

(4) 月別連絡件数は11月13件、1月12件でした。気温が下がる時期と寒暖差が大きい時期に多く発生しています。

(5) 男女の割合は、男性が45・3%、女性が54・7%でした。

高齢者等見守り活動

2019年度の取り組み

報告



特徴的な事例と行政への連絡

(1) 配食サービスは、週3日以上からお弁当の配達を行っており、前日のお弁当が残っているなど、いつもと違う状況を察知する場面が多く、配食サービスの利用者が行政に連絡した事例が46件あり、全体の61・3%となっています。

(2) 担当職員から報告を受けた場合、個別の判断を入れず行政に速やかに連絡しています。

(3) 担当職員は、「認知症サポーター養成講座」を受講し、高齢者等見守り活動に取り組んでいます。

(4) むつ市で、息子さんが見に行ったら倒れていて緊急搬送された事例と、前日の弁当が残っていたため行政へ連絡を取り、無事が確認できた事例があり、むつ市長から感謝状をいただきました。

コープあおもりでは、引き続き地域の見守り活動に取り組み、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを支援していきます。

対応の状況について

(1) 亡くなられていた方が3人おりました。お届け時に前週の商品がそのまま残っており、異常と感じて行政に連絡。亡くなられていたとの報告がありました。

(2) 無事を確認した事例は54件でした。前日お届けのお弁当がそのまま残っており、いつもと違う状況と判断して対応した事例が多く発生しました。うち1件は、アパートの外に倒れていたため自宅へ運んだ事例がありました。

(3) 入院していたのは12件でした。お弁当の休止連絡をされていないにもかかわらず、前日のお弁当がそのまま残っていたなどの事例です。

(4) 行政への連絡後に緊急搬送された事例が5件ありました。行政や身内の方が自宅を訪問したところ倒れていた事例が3件、骨折して動けなくなっていた事例が1件、体調不良で動けなくなっていた事例が1件ありました。

(5) 商品お届け時、周辺から声が聞こえ、見に行ったら用水路に転落していて、職員が引き上げてご家族に連絡した事例がありました。

LPAの会からのお役立ち情報

てーまは…

教育費について



子供の成長は嬉しいものですが、節目節目にお金がかともないます。

幼稚園では、指定のカバンや制服、それぞれの幼稚園での取り組み(スイミングや英語など)で費用は違います。

小学校では、入学前にランドセルの購入、入学式の服や文具、文具の他、勉強机を用意するご家庭も多いと思います。入学時には学用品を揃えるため一時金(1〜2万円)を支払います。

給食費や学級費、PTA会費や行事費など、月々1万円弱。学校に慣れてくると、おけいこや塾に通い始める場合もあります。学年が上がって、部活動やスポーツ少年団に入ると部費・回費や購入が必要なものがあります。5年生は宿泊学習(2〜4万円)、6年生は修学旅行(4〜6万円)と、まとまった出費があります。

中学校になると、制服や学校指定のカバンやジャージ、ズックなど、割と高額です(12〜15万円)。部活動に必ず入部しなければいけない学校が多いので、購入が必要なものがあります。3年生の修学旅行(8〜10万円)。高校受験のための塾通いは月謝の他に夏期・冬期講習や模擬試験・学力テストなど、別に費用がかかるケースが多くなっています。

最終決断ではないものの、人生の岐路となります。

就職を考えている人は、いろいろな資格を取得した方が有利です。高校でも資格取得に向けて勉強します。検定料は数千円。一回で合格してほしいのが親の本音です。

進学したい子どもが言った、応援したいけれど内心、ドキッとします。入学金、授業料、一人暮らしの仕送りはいくら?かかるんだろう?入学金は20〜50万円、授業料は年間30〜100万円、仕送りは月々6〜8万円。進学する学部によっては実習などがあり、アルバイトする時間がない場合もあるの、仕送りの額が増えます。志望校が決まったら、事前に調べましょう。

実は入学する前に、予想以上の費用がかかります。受験料(2〜3万円)、受験にともなう交通費や宿泊費です。受験する学校数が数校になると2倍3倍となります。



▲2月27日、松原店(弘前市)の組合員活動施設で行われた「松原店舗こへぶ委員会」主催行事で講師を務めるメンバー。LPAの会とは「ライフ(L)プラン(P)・アドバイザー(A)の会」を略したもので、くらしのお金に係る情報を発信する組合員活動です。身近な取り組みとして、地域での学習会を開催しており、ご案内は「週刊版ニュース」等で行っています。ぜひ、ご参加ください。

推薦入学やAO入試など入学が早く決まると、入学金の納入時期も早くなります。期日までには支払わなければ、合格は取り消されます。第一志望の合格発表前に、第二志望の入学金を納める期日が来る場合もありますので、数十万円をムダにすることもありません。

奨学金を考える方もいると思いますが、子どもに大学卒業と同時に数百万円の借金を背負わせることになり、安易に考えてはいけません。安易に考えてはいけません。奨学金を使う場合、支給はすぐに開始されませんので、やはりお金の準備は必要です。

中学校あたりまでは、なんとかなるので、のんびりしがちですが、幼児教育・保育が無償化されましたので、払ったつもりで貯める、児童手当を貯める、地域によって3歳まで、小学校入学まで、小学校卒業まで等違いはありますが医療費のかからないうちに貯める。子どものために少しずつ準備をしておくことをおススメします。

*金額はあくまで参考です。